

■ SELECT 構文

```
SELECT [STRAIGHT_JOIN]
      [SQL_SMALL_RESULT] [SQL_BIG_RESULT] [SQL_BUFFER_RESULT]
      [SQL_CACHE | SQL_NO_CACHE] [SQL_CALC_FOUND_ROWS] [HIGH_PRIORITY]
      [DISTINCT | DISTINCTROW | ALL]
select_expression,...
[INTO {OUTFILE | DUMPFILE} 'file_name' export_options]
[FROM table_references
 [WHERE where_definition]
 [GROUP BY {unsigned_integer | col_name | formula} [ASC | DESC], ...
  [WITH ROLLUP]]
 [HAVING where_definition]
 [ORDER BY {unsigned_integer | col_name | formula} [ASC | DESC] ...]
 [LIMIT [offset,] row_count | row_count OFFSET offset]
 [PROCEDURE procedure_name(argument_list)]
 [FOR UPDATE | LOCK IN SHARE MODE]]
```

SELECT は1 つ以上のテーブルからレコードを選択して取り出すときに使用します。

各 select_expression は、取り出すカラムを表します。

SELECT は、どのテーブルも参照することなく、計算によって求められたレコードを取り出すときにも使用できます。

・ DISTINCTを指定すると重複する行を取り除いて結果を返す。

■ INSERT 構文

```
INSERT [LOW_PRIORITY | DELAYED] [IGNORE]
      [INTO] tbl_name [(col_name,...)]
      VALUES ((expression | DEFAULT),...),(...),...
      [ ON DUPLICATE KEY UPDATE col_name=expression, ... ]
または INSERT [LOW_PRIORITY | DELAYED] [IGNORE]
      [INTO] tbl_name [(col_name,...)]
      SELECT ...
または INSERT [LOW_PRIORITY | DELAYED] [IGNORE]
      [INTO] tbl_name
      SET col_name=(expression | DEFAULT), ...
      [ ON DUPLICATE KEY UPDATE col_name=expression, ... ]
```

INSERT ステートメントでは、既存のテーブルに新しいレコードが挿入されます。

INSERT ... VALUES 形式の INSERT では、明示的に指定した値に基づくレコードが挿入されます。

INSERT ... SELECT 形式の INSERT では、別の 1 つまたは複数のテーブルから選択されたレコードが挿入されます。

複数の値のリストを持つ INSERT ... VALUES 形式は、MySQL バージョン 3.22.5 以降でサポートしてす。

・ INSERT ... VALUES または INSERT ... SELECT でカラムリストを指定しない場合、VALUES() リストまたは SELECT で、テーブルのすべてのカラムの値を提供する必要がある。

・ 値が明示的に指定されていないカラムは、そのカラムのデフォルトに設定される。
たとえば、カラムリストでテーブルのすべてのカラムが指定されていない場合、指定されていないカラムはそのデフォルト値に設定される。

■ UPDATE 構文

```
UPDATE [LOW_PRIORITY] [IGNORE] tbl_name
  SET col_name1=expr1 [, col_name2=expr2 ...]
  [WHERE where_definition]
  [ORDER BY ...]
  [LIMIT row_count]
```

または

```
UPDATE [LOW_PRIORITY] [IGNORE] tbl_name [, tbl_name ...]
  SET col_name1=expr1 [, col_name2=expr2 ...]
  [WHERE where_definition]
```

UPDATE は既存のテーブルレコードのカラムを新しい値で更新します。

SET 節は値の変更対象のカラムと値を示します。WHERE 節がある場合、この節は更新するレコードを示します。

更新対象のレコードが指定されていない場合は、すべてのレコードが更新されます。

ORDER BY 節が指定されていると、そこに指定された順序でレコードが更新されます。

■ DELETE 構文

```
DELETE [LOW_PRIORITY] [QUICK] [IGNORE] FROM table_name
  [WHERE where_definition]
  [ORDER BY ...]
  [LIMIT row_count]
```

または

```
DELETE [LOW_PRIORITY] [QUICK] [IGNORE] table_name[*] [, table_name[*] ...]
  FROM table-references
  [WHERE where_definition]
```

または

```
DELETE [LOW_PRIORITY] [QUICK] [IGNORE]
  FROM table_name[*] [, table_name[*] ...]
  USING table-references
  [WHERE where_definition]
```

DELETE は、where_definition で指定されている条件にマッチするレコードを、table_name に指定されているテーブルから削除し、

削除したレコードの数を返します。

WHERE 節が指定されていない DELETE では、すべてのレコードが削除されます。

AUTOCOMMIT モードで実行された場合、WHERE 節なしの DELETE は TRUNCATE と同じように動作します。